

人 ピープル



県新卓球選手権ルビーの部で優勝
坪井 徳一さん(61) 緑が丘町

県新卓球選手権の男子シングルス
ルビーの部で個人優勝した。シング
ルス、ダブルスともに男女それぞれ

四部門に約百五十人が参加。新卓球
はラージボールと呼ばれる大きめの
ボールを使用する。通常の卓球ボー

5月の 全日本選手権 を目標に

ルよりも直径が四 大きく、重さは
軽いため、球速が遅く卓球よりもラ
リーが続きやすいのが特徴だ。
「今回の優勝は、あくまで通過点
なんです。五月に行われる全日本選
手権を目標にしているので、この時
期の調整具合を見る大会でした。で
すから、ほかにも二、三の県外の県
大会クラスにチャレンジして、力試
しをしているんですよ」
サーブ練習だけで、二時間以上を
費やすこともある。
「ボールコントロールが一番大切
なので、特に集中して練習するんで
す。サーブを打つ時に、卓球台の端
を狙った場合、左右どちらかにボー
ル一個分外れば、アウトになります
り、痛烈に打ち返されたりします。
ですから、狙った場所に正確に打て

るように練習をしています」
昨年の全日本選手権では、Bクラ
スでシングルスとダブルスで優勝を
飾った。今回、シングルスは上位の
Aクラスに昇格のため、さらに厳し
い試合が予想される。
「月に二・三回、桐生市の卓球の
元世界チャンピオンの所で練習して
いるんです。一対二でゲームをする
のは三十分弱だと思いますが、疲れ
方が違います。一般の人と練習する
と五・六時間できますが、世界チャ
ンピオン経験者としては、今の練習だ
けで、翌日でも卓球のラケットを見
るのがいやになるくらいですよ。と
ても内容の濃い練習です」
シングルスでの優勝を目指し、厳
しい練習が続く。これからも連覇を
目標に、頑張ってもらいたい。

学校ついで キノコ栽培を 楽しく学習



中央小学校

三月四日、中央小の三年生を対象
に「きのこ栽培」の体験学習が行わ
れました。児童に物を育てることの
大切さと喜びを感じ取ってもらっ
とが狙いです。
まず、長さ一、太さ十 のコナ
ラの原木に、電気ドリルを使って穴
開け作業を開始。その後、種駒が配
られ、一人ひとりに用意された金づ
ちで原木に駒打ちを行いました。あ

ちここで気持ちの良い音が響きま
す。児童たちの興味は次第に膨れ上
がり、いつまでも駒打ち作業を続け
ていた様子でした。



Pick up ぴっくあつぷ

帰郷を願いサケを放流

三月十日、南
部大橋北側の利
根川河川敷で、
サケの稚魚放流
が行われまし
た。利根川にサ
ケを呼び戻そう
と始められ、今
回は二十一回目
家族連れなど五
百人が参加しま
した。稚魚は、
昨年十二月に希
望者に配られた
卵を、家庭でふ
化させて大事に



育てた物。参加者たちは、大きな
つて利根川に返って来ることを願
いながら、元気に泳ぐ稚魚を、名残惜
しそつに見守っていました。